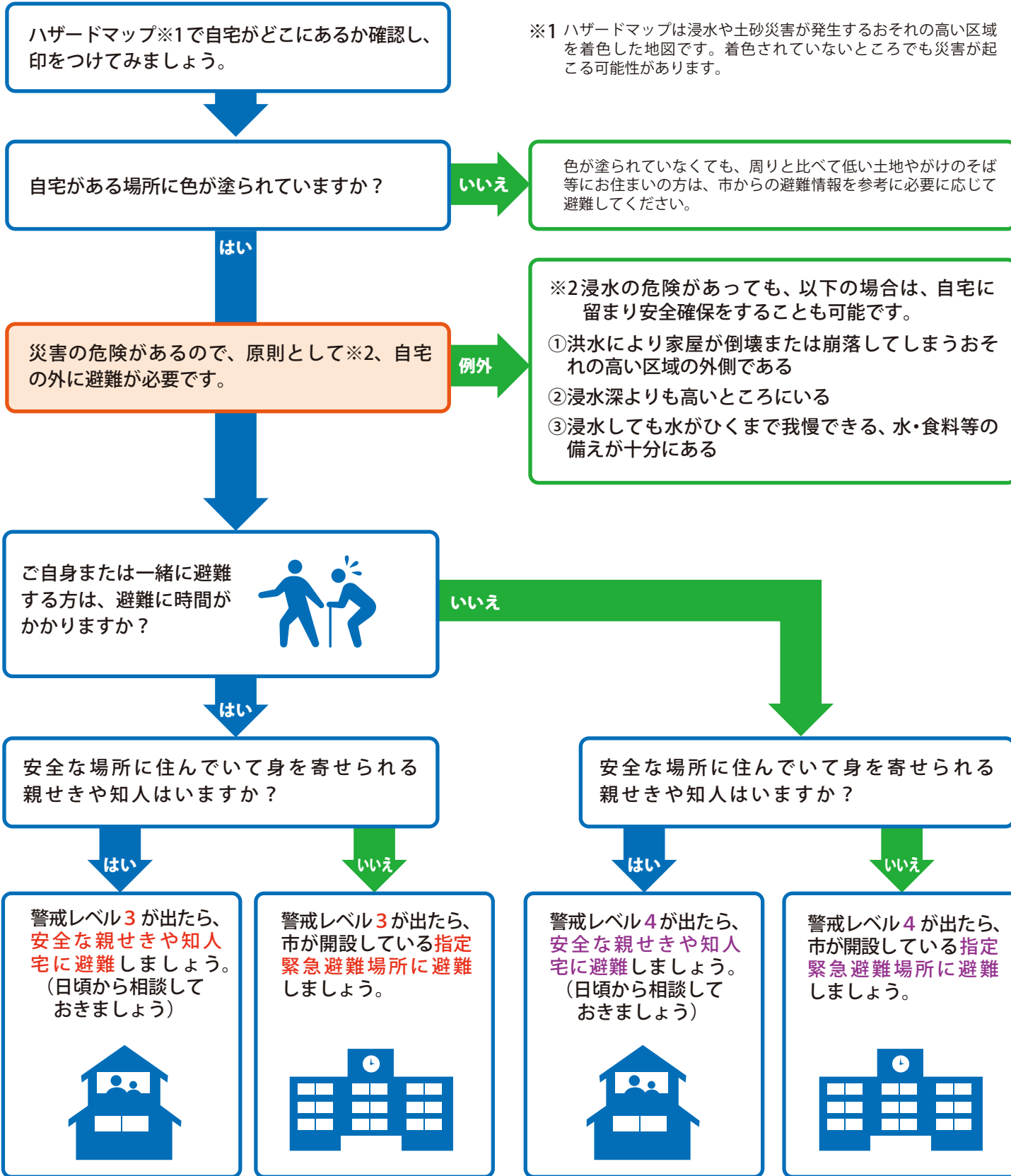


3-7. ハザードマップの見方

自宅の周辺の詳細な状況を校区别マップにより確認しましょう。
避難行動判定フローを参考に、自宅の災害リスクやとるべき避難行動等を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう**



ハザードマップの見方①

必ず確認してください

浸水するおそれが高い区域

土砂災害のおそれがある区域

凡例

水害		土砂災害	
洪水浸水想定区域 (浸水深)		土砂災害警戒区域	土砂災害のおそれがある区域
3~4階	5m以上 (3階床上浸水以上)	土砂災害特別警戒区域	建造物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
2階	3m~5m未満 (2階床上~2階軒下浸水)		
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~2階床下浸水)		
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)		

ハザードマップの見方②

もっと詳しく知りたい人向け

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても安全を確保しながら自宅に留まることも可能です。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
 - 氾濫流: 流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります
 - 河岸侵食: 地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります
 - 早期に立退き避難が必要な区域 (家屋倒壊等氾濫想定区域)
- 浸水深より居室は高い

3~4階	5m以上 (3階床上浸水以上)
2階	3m~5m未満 (2階床上~2階軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~2階床下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)
- 水がひくまで我慢できる、水・食料等の備えは十分

浸水深

- 5.0m 以上
- 3.0 ~ 5.0m 未満
- 0.5 ~ 3.0m 未満
- 0.5m 未満

※内水については、浸水深 0.1m 未満は表示していません。

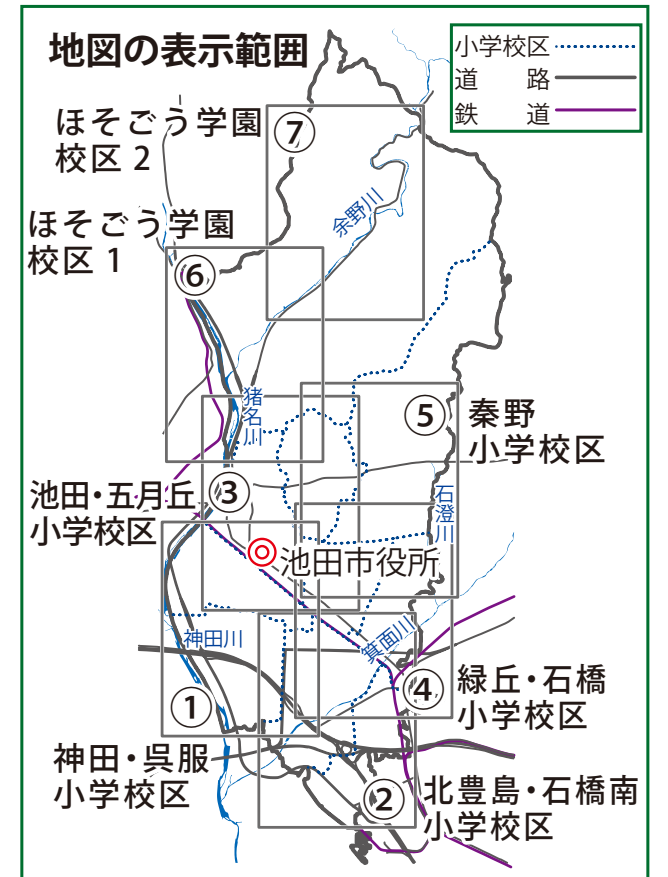
早期に立退き避難が必要な区域 (家屋倒壊等氾濫想定区域)

木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがある、家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがある区域。

浸水継続時間 (1日以上3日未満)

土砂災害

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域



凡例

- 指定一般避難所兼指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
- 指定福祉避難所
- 防災行政無線
- アンダーパス
- 水位観測所
- ライブカメラ
- 土のうステーション
- 市役所
- 消防署
- 消防団詰所
- 一時避難地
- 名称を緑色で記載
- 広域避難地
- 警察
- 医療
- 備蓄倉庫
- 水防倉庫
- 市境界
- 小学校区界
- 早期に立退き避難が必要な区域 (家屋倒壊等氾濫想定区域)
- 浸水継続時間 (1日以上3日未満)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

出典：内閣府「避難情報に関するガイドラインの改訂 (令和3年5月)」